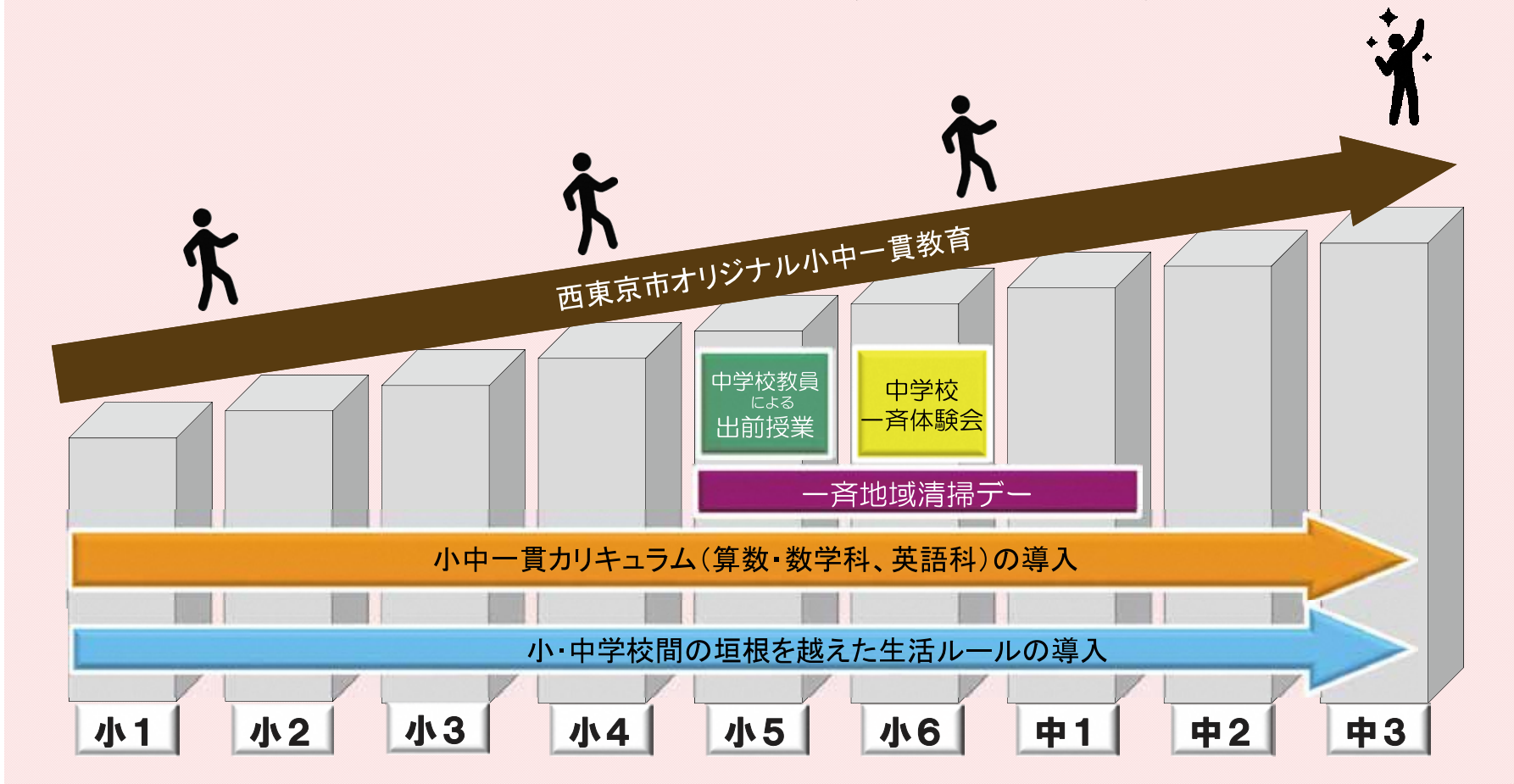


### 小中一貫教育ではどんなことをするの？

令和2年度は、「実際に進学する中学校への不安を軽減する」「新しい環境に対する不安を軽減する」「中学校での勉強に対する不安を軽減する」の3点をコンセプトとして、様々な取組を行います。



#### 小中一貫カリキュラム(算数・数学科、英語科)の導入

学力差が生じやすい小学校算数科・中学校数学科、小・中学校英語科の指導方法(教員が指導する際の留意点)を小中一貫カリキュラムとしてまとめました。指導内容は学習指導要領で一律に定められているため、指導内容が西東京市独自のものになるわけではなく、全市立小・中学校で、周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業を行います。特に、小学校の教員は、今指導している内容が中学校での学習にどうつながっていくか、中学校の教員は、小学校でどのような学習形態で学んできたかという点について一層意識しながら、つながりのある授業を行います。

#### 中学校一斉体験会の実施(小学6年生対象)

来年夏、全市立中学校を会場とした中学校一斉体験会を行います。市立小学校に通う6年生の全児童が中学校生活の説明を受けたり、部活動の様子を見学したりすることで、これから始まる中学校生活への意欲の向上を図ります。この体験会は、指定校(学区域の学校)で行いますので、実際に進学する学校(私立等は除く)のイメージをもつことができます。

#### 中学校教員による出前授業の実施(小学5年生対象)

中学校での学習についての理解を深めるために、中学校の教員が小学5年生の全学級に出向いて、出前授業を行います。

#### 小・中学校間の垣根を越えた生活ルールの導入

中学1年生を対象としたアンケート調査の中で、中学校入学後に、ルールやマナーの違いに戸惑ったとの声が聞かれました。小学校と中学校の生活ルールの違いについては、教員からも、整理する必要性を感じる声が以前からあがっていました。このことから、小・中学校の垣根を越えて取り組む必要があると考えられる内容に特化したルールづくりを行います。

#### 一斉地域清掃デーの実施

来年秋、小学5・6年生と中学1年生と一緒に、協力しあいながら地域清掃を行います。中学生との交流を通して、進学後の不安解消を図ります。